

地震での建物火災 >> 約6割が電気火災

感震 ブレーカー 有効

揺れを感知し、電気を自動遮断！

です！

地震による建物火災の半数以上の原因が、電気機器からの出火や停電復旧後の通電で発生する「電気火災」です。防止対策に有効なのが、揺れを感知した際に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」。さまざまなタイプがあり、特徴を理解した上で設置しましょう。

分電盤タイプ (内蔵型)



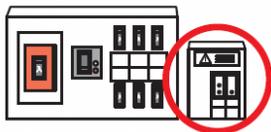
価格:5万~8万円

電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が必要

工事費:約2~3万円

分電盤タイプ (後付型)



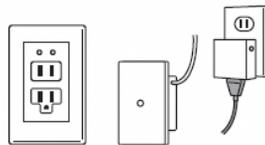
価格:約2万円

分電盤に感震機能を外付けするタイプ。センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が必要

工事費:約1万円

コンセント タイプ



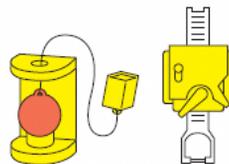
価格:5千~2万円

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断する。

電気工事が不要
※埋込型は必要

工事費:約8千円

簡易 タイプ



価格:2千~4千円

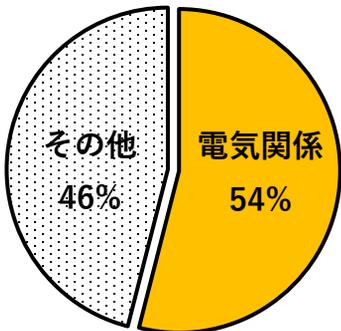
ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が不要

工事費不要

※電気工事費(概算)は目安であり、設置する建物等の状況により異なります。

東日本大震災時に発生した火災原因



電気火災の例

- ◆ 家具の転倒により電気コードが損傷し、停電が復旧したことによりショートして着火
- ◆ 白熱灯などが転落・落下し、可燃物に着火
- ◆ 転倒・落下した可燃物が電気ストーブなどの電熱器具に接触して着火

※出典: 日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」



協議会HP



電気工業
工業組合HP

鳥取県感震ブレーカー普及協議会

●お問い合わせ先

事務局 : 0857-26-7082 (鳥取県消防防災課)

電気工事の御相談 : 0857-24-9213 (鳥取県電気工業組合)